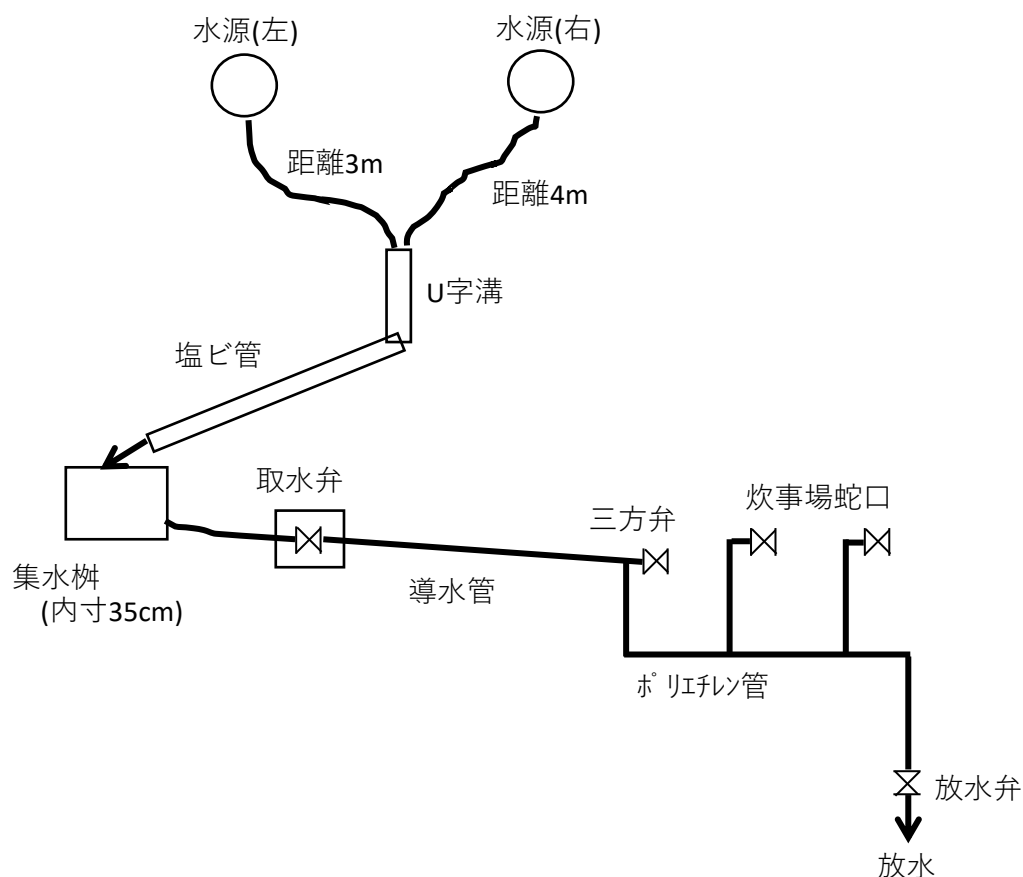


じんじろげ小屋水源

現在の状況(2021年9月20日)



水源は沢沿いの急斜面から噴出する2か所の湧水

上流に向かって右側水源の湧出量がやや多い、水質はともに良好

水位は沢とほぼ同等であり、湧出量は沢の水量により増減と思われる

U字溝で湧水を集めて塩ビ管φ50で集水桝に移送

塩ビ管の入口はしばしば落葉等で閉塞する

また、沢が増水すると塩ビ管が流出する恐れがある

集水桝は上面金網となっているが、微細な木片や粒子が流入してしまう

集水桝と取水弁は塩ビホースで接続されているが、弁側の接手が割れている

導水管は塩ビφ50が歩道下に埋設されていると思われる

φ20ポリエチレン管に接続されている蛇口は、上記微細片で閉塞しやすい

上記下線部分を改善しないと、導水の停止が頻発し、導水管の閉塞発生も懸念される

蛇口の閉塞は細かいストレーナーを設置すれば解消可能となるが、ストレーナーの

メンテナンスがその都度必要となる、蛇口の水量が低下した段階で蛇口を外して

メンテナンスするほうが簡便、確実と考えられる



水源の状況

写真右側の湧出口がやや低く、水量も多い
湧出口直近で取水したほうが水質安定するが、合流点取水のほうが水量は安定する



U字溝と塩ビ管

塩ビ管の上端部に落葉がつまって閉塞する
U字溝、塩ビ管ともに固定されていないので増水で流出する恐れがある



塩ビ管と取水桝

取水桝は蓋の下が金網
蓋のすきまから流入する
下方右側が取水弁箱



取水柵

蓋と金網を外して水を
排出した状況
右側に鉄の流出ノズルが
見える



取水弁箱

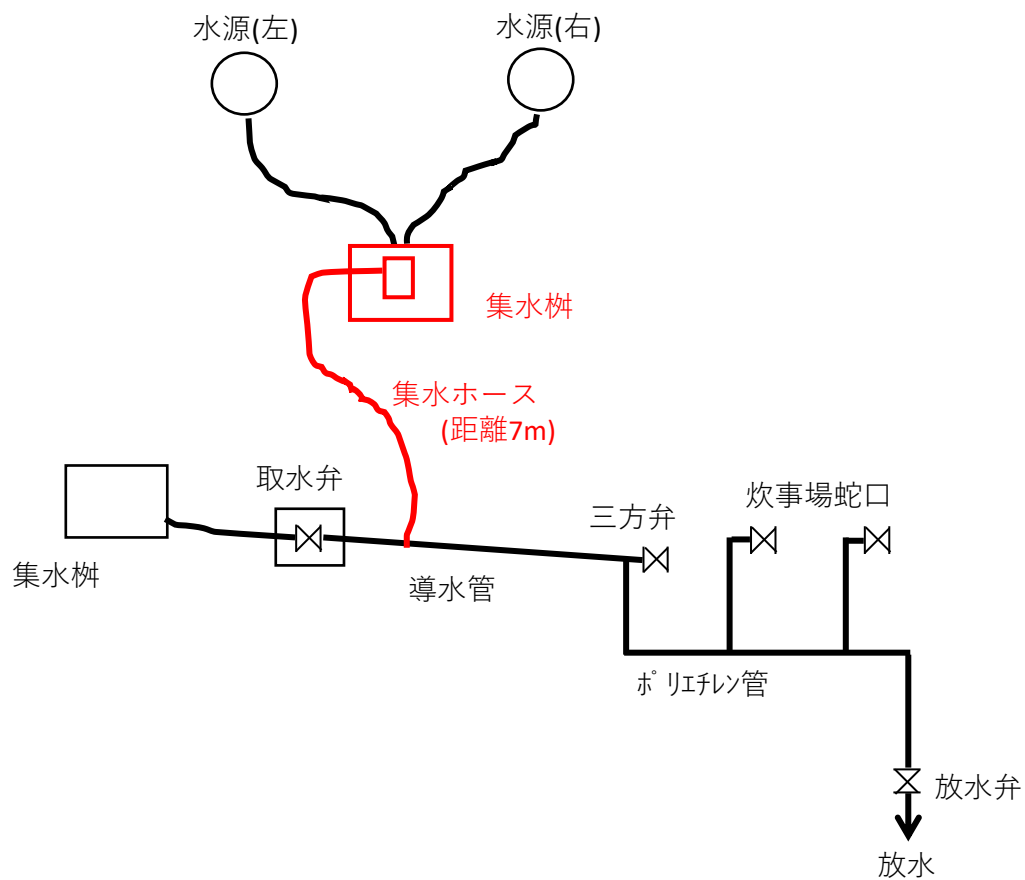
箱中に仕切弁が設置
左側のホースが取水柵
に接続されている
塩ビの接手が垂直部で破損
しており、差し込んで
あるだけの状況



三方弁

導水管末端の三方弁
弁手前下方にポリエチ
レン管が分岐して
炊事場他に接続

改善案



水源湧出水の合流付近に新規集水桝を設置

集水桝の中に網で包んだ集水筒を収納

集水筒は桝蓋を開ければ簡単に取り出せ、メンテナンス可能とする

集水筒と導水管を塩ビホースで接続

接続点は既設取水弁直近下流側とし、バルブは設置しない

既設集水桝と取水弁は予備として保存する

保存の際は弁上流側破損塩ビ接手を補修する